

科目名	福祉サービスの組織と経営					単位	2.0
担当教員	牧村 順一						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	1514

### ●授業のテーマ

福祉サービスに係る組織や団体, 経営に係る基礎理論及び経営と管理運営

### ●到達目標

福祉サービスに係る組織や団体の実際を理解・把握し、福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論を習得し、さらに福祉サービス提供組織の経営と実際及び福祉サービスの管理運営の方法と実際について理解・習得する。

### ●学習内容(授業概要)

「福祉サービスの組織と経営」は、現行の福祉サービスはどのような考え方や原理に基づいて提供されているのか、それを担う組織にはどういったものがあるのか等、これらの要点を把握して、よりよい福祉サービスを提供する方法を明らかにする。

「社会福祉サービス」ではなく、「福祉サービス」とするのは何故なのか、その違いとは何かを理解した上で、福祉サービスのありかたを論じ、サービスを提供する社会福祉施設や各種事業体、それを経営する社会福祉法人他の諸事業体などの特性を学ぶ。さらに、経営の視点からそれら特性を把握した上で最善の運営管理の内容について学ぶ。

### ●学習内容(授業計画)

《後期》

1. オリエンテーション
2. 福祉サービスに係る組織や団体 (1) 社会福祉法人制度
3. 福祉サービスに係る組織や団体 (2) 特定非営利活動法人制度
4. 福祉サービスに係る組織や団体 (3) その他の組織や団体
5. 福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論 (1) 組織に関する基礎理論
6. 福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論 (2) 経営に関する基礎理論
7. 福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論 (3) 管理運営に関する基礎理論
8. 福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論 (4) 集団の力学及びリーダーシップに関する基礎理論
9. 福祉サービス提供組織の経営と実際 (1) 理事会の役割、財源
10. 福祉サービス提供組織の経営と実際 (2) コンプライアンスとガバナンス
11. 福祉サービス提供組織の経営と実際 (3) 人材の養成と確保、経営の実際
12. 福祉サービスの運営管理の方法と実際 (1) 適切なサービス提供体制の確保
13. 福祉サービスの運営管理の方法と実際 (2) 働きやすい労働環境の整備
14. 福祉サービスの運営管理の方法と実際 (3) 実際の経営と運営
15. まとめ

### ●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマ事に、自分の体験した分野での実習経験やボランティア経験で得た知識との違いや共通点をまとめておく。授業後は、テーマに沿って関連する領域についてさらに調べておく。

●成績評価方法・基準

[単位認定の方法及び基準]

講義終了時のレポート(50%) 小レポート(30%) 総合評価(20%)

●テキスト(必携)

≪No.1.≫書籍名：新・社会福祉士養成講座 11 『福祉サービスの組織と経営』、著者名：社会福祉士養成講座編集委員会編集、出版社：新日本法規

●参考文献／その他

講義時に指示する

●履修上の注意

講義形式ですすめるが、ペアやグループでの討議を時折とり入れる場合があり、積極的な参加が望まれる。また、授業内にミニレポートを提出してもらうことがある。